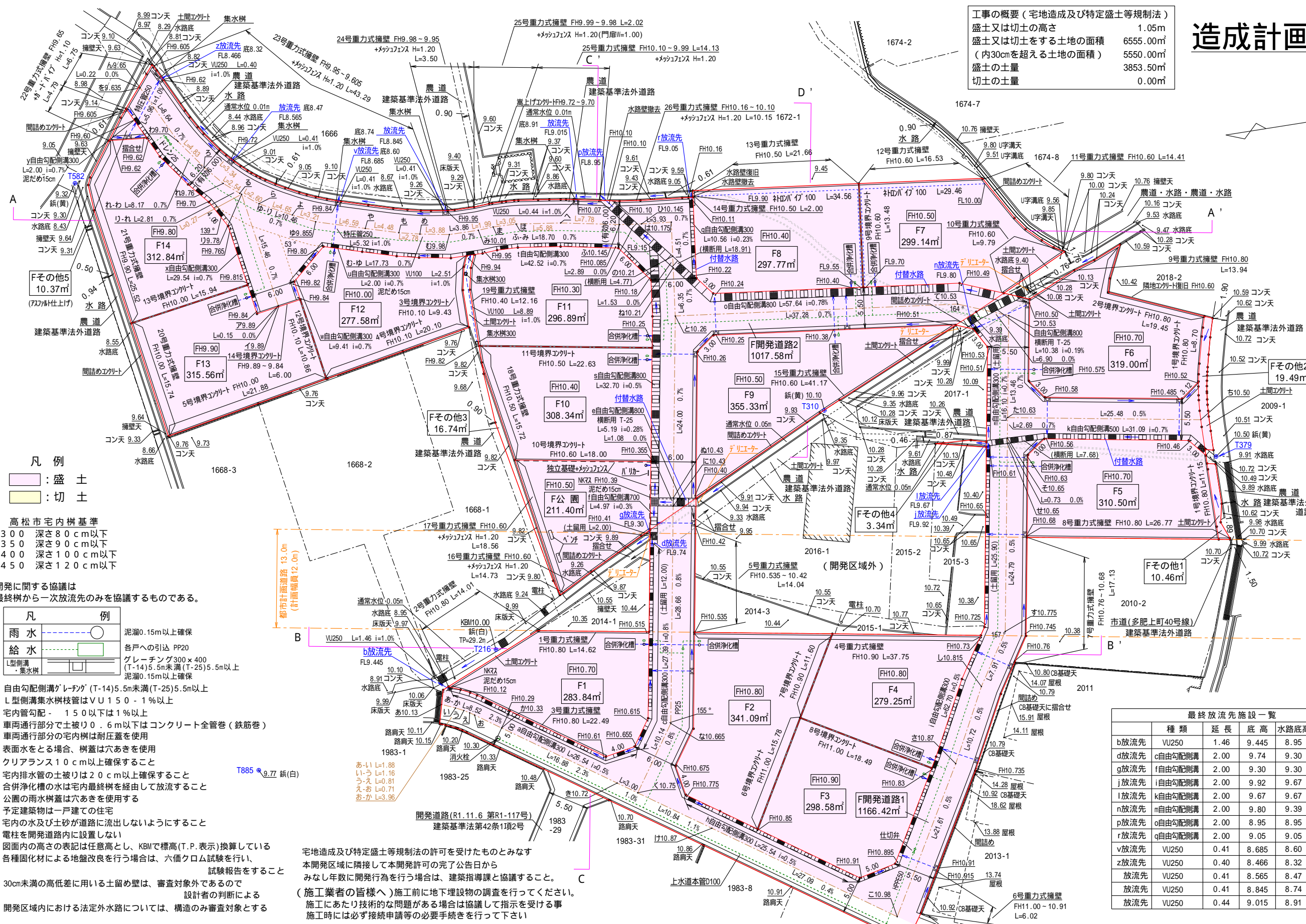
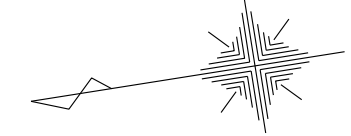


# 造成計画平面図

工事の概要 (宅地造成及び特定盛土等規制法)  
 盛土又は切土の高さ 1.05m  
 盛土又は切土をする土地の面積 6555.00㎡  
 (内30cmを超える土地の面積) 5550.00㎡  
 盛土の土量 3853.50㎡  
 切土の土量 0.00㎡



凡例  
 ■ : 盛土  
 ■ : 切土

高松市宅内樹基準  
 300 深さ80cm以下  
 350 深さ90cm以下  
 400 深さ100cm以下  
 450 深さ120cm以下

\*開発に関する協議は  
 最終樹から一次放流先のみを協議するものである。

凡	例
雨水	泥溜0.15m以上確保 各戸への引込 PP20
給水	グレーチング300×400 L型側溝 ・集水樹

自由勾配側溝「レナグ」(T-14)5.5m未満(T-25)5.5m以上  
 L型側溝集水樹枝管はVU150・1%以上  
 宅内管勾配 1.50以下は1%以上  
 車両通行部分で土被り0.6m以下はコンクリート全管巻(鉄筋巻)  
 車両通行部分の宅内樹は耐圧蓋を使用  
 表面水をとる場合、樹蓋は穴あきを使用  
 クリアランス10cm以上確保すること  
 宅内排水管の土被りは20cm以上確保すること  
 合併浄化槽の水は宅内最終樹を経由して放流すること  
 公園の雨水樹蓋は穴あきを使用する  
 予定建築物は一戸建ての住宅  
 宅内の水及び土砂が道路に流出しないようにすること  
 電柱を開発道路内に設置しない  
 図面内の高さの表記は任意高とし、KBMで標高(T.P.表示)換算している  
 各種固材材による地盤改良を行う場合は、六価クロム試験を行い、  
 試験報告をすること  
 30cm未満の高低差に用いる土留め壁は、審査対象外であるので  
 設計者の判断による  
 開発区域内における法定外水路については、構造のみ審査対象とする

宅地造成及び特定盛土等規制法の許可を受けたものとみなす  
 本開発区域に隣接して本開発許可の完了公告日から  
 みなし年数に開発行為を行う場合は、建築指導課と協議すること。  
 (施工業者の皆様へ) 施工前に地下埋設物の調査を行ってください。  
 施工に当たり技術的な問題がある場合は協議して指示を受ける事  
 施工時には必ず接続申請等の必要手続きを行ってください

種類	延長	底高	水路底高	水路水位
b放流先	VU250	1.46	9.445	8.95
d放流先	c自由勾配側溝	2.00	9.74	9.30
g放流先	f自由勾配側溝	2.00	9.30	9.30
j放流先	i自由勾配側溝	2.00	9.92	9.67
l放流先	k自由勾配側溝	2.00	9.67	9.67
n放流先	m自由勾配側溝	2.00	9.80	9.39
p放流先	o自由勾配側溝	2.00	8.95	8.95
r放流先	q自由勾配側溝	2.00	9.05	9.05
v放流先	VU250	0.41	8.685	8.60
z放流先	VU250	0.40	8.466	8.32
放流先	VU250	0.41	8.565	8.47
放流先	VU250	0.44	9.015	8.91